

令和7年度うに・あわび餌料海藻生産活性化事業業務委託仕様書

1 業務目的

餌料海藻養殖に係る種苗及び施肥の違いによる収量を把握するため、餌料海藻の養殖及び採取作業について業務委託を行うもの。

2 業務期間

契約締結日から令和8年3月16日まで

3 業務内容

(1) 対象海域

岩手県内海域

(2) 方法・条件

ア 養殖施設設置・餌料の養殖作業

(ア) 作業内容

- (1) 岩手県県北広域振興局水産部が購入したコンブ促成種苗及びコンブ半フリー種苗を約40cm間隔で既設の海藻養殖桁に巻き付け、各群40mずつ計80m分を養殖する。

※養殖桁40mに対して種苗は100株が巻き付けられている計算となるもの。

- (2) (1)の養殖桁の内、コンブ促成種苗養殖区及びコンブ半フリー種苗養殖区の半分（各群80mのうち、40mの範囲）に5m間隔で施肥材（県北広域振興局水産部が制作するもの）を取り付け、促成種苗・施肥有り区、促成種苗施肥無し区、半フリー種苗・施肥有り区、半フリー種苗施肥無し区の4試験区を設けて養殖を行う。

(イ) 実施時期 11月～3月（概ね）

※水温・養殖環境を確認の上、コンブ養殖に適した時期に実施

(ウ) 実施場所 ○○地先

- (エ) 作業規模 幹縄の長さが100m以上ある養殖桁のうち80m以上の範囲に海藻巻きつける。

イ 生育調査に係る養殖した餌料海藻の回収作業

(ア) 作業内容

- (2)アにより養殖したコンブを月1回、各試験区から1mずつ、計4m分を刈り取り野田漁港まで運搬し、県北広域振興局水産部職員に渡す。

(イ) 実施時期 1月～3月（概ね）

(ウ) 実施場所 ○○地先及び○○漁港

(エ) その他

コンブを刈り取る際に試験区が分かる様、容器を分ける等の手段を講じること。

4 業務報告書

作業終了後に令和7年度うに・あわび餌料海藻生産活性化事業業務委託報告書（任意）を1部作成し、県北広域振興局長に提出すること。報告書は以下の項目を網羅して記載すること。

(1) 作業日時

(2) 作業内容

(3) 結果

※ 結果には、海藻養殖を行った箇所の地図、養殖及び採取作業の写真等を適宜添付すること。

5 その他

この仕様書に定めのない事項については、その都度発注者と協議して決定すること。